

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	情報リテラシー 1	
科目基礎情報							
科目番号		0003		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		商船学科		対象学年		1	
開設期		後期		週時間数		後期:2	
教科書/教材		情報リテラシー教科書 Windows 10/Office 2019対応版 オーム社 / 必要に応じて資料を配布					
担当教員		小川 伸夫					
到達目標							
1.情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる。 2.コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用でき、かつ応用できる		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できない	
評価項目2		コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用でき、かつ応用できる		コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用できる。		コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (B1)							
教育方法等							
概要		この教科の目的は、コンピュータという道具の仕組み、使い方を学ぶことにある。 2時間続きの授業の中で講義と演習を行う。講義では、コンピュータを使用する上で必要な用語を取り上げ解説する。 実習では、タイピング、ワープロ、表計算ソフトの使用法を教科書の課題を使って行う。タイピングは、1分間に指定する速さで入力できることを目標にする。ワープロ、表計算などで作成したファイルをポートフォリオとして評価する。 この授業を受けることで、コンピュータでレポートなどを作成できるスキルを獲得できる。					
授業の進め方・方法		・授業は講義と実習形式で行う。 ・遠隔授業の場合もある。					
注意点		・タイピングの練習などを毎日行える環境を整えることが望ましい。					
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	コンピュータの基本操作		演習室のパソコンへログインができる		
		2週	コンピュータの基本操作		コンピュータの基本的な操作ができる		
		3週	タイピングについて ワープロソフトの利用		指の配置、キー配列、キーの名称がわかる ワープロソフトを使い指定された形式の文書を作成することができる。		
		4週	ワープロソフトの利用 知的財産権について		ワープロソフトを使い指定された形式の文書を作成することができる。 知的財産の扱いがわかる。		
		5週	ワープロソフトの利用		ワープロソフトを使い指定された形式の文書を作成することができる。		
		6週	ワープロソフトの利用 論理演算と進数変換		ワープロソフトを使い指定された形式の文書を作成することができる。 論理演算と進数変換の基礎が理解できる		
		7週	中間試験				
		8週	試験の解答と解説 コンピュータのハードウェアについて		コンピュータの仕組みを理解できる		
	4thQ	9週	表計算ソフトの利用		見やすい表を作成することができる。		
		10週	表計算ソフトの利用		見やすい表を作成することができる。		
		11週	表計算ソフトの利用		関数を使い自動的にデータの集計ができる。		
		12週	表計算ソフトの利用		関数を使い自動的にデータの集計ができる。		
		13週	表計算ソフトの利用		関数を使い自動的にデータの集計ができる。グラフを作成することができる		
		14週	表計算ソフトの利用		関数を使い自動的にデータの集計ができる。グラフを作成することができる		
		15週	期末試験				
		16週	試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		1	後4,後5,後6,後11,後12,後13,後14
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		3	後6
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。		3	後8

				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	1	
専門的能力	分野別の専門工学	商船系分野 (航海)	情報処理	ワードプロセッサソフトウェアの基本的な使い方を説明できる。	2	後3,後4,後5,後6
				ワードプロセッサソフトウェアを利用し、文書の作成ができる。	4	後3,後4,後5,後6
				表計算ソフトウェアの基本的な使い方を説明できる。	2	後9,後10,後11,後12,後13,後14
				表計算ソフトウェアにより、基本的なグラフが作成できる。	4	後13,後14
				コンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェアについて説明できる。	2	後8
		商船系分野 (機関)	情報処理	コンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェアについて説明できる。	2	後8
				いろいろなコンピュータの利用について説明できる。	2	後1,後2

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	50	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0